

2020.3.1 No.35



えんしゅうびょういん 情報紙

【担当：放射線科】

## 胸部レントゲン撮影について

定期健康診断や体調が悪いときなどに、胸部レントゲン撮影を一度は撮影したことのある方が多いのではないのでしょうか。

そのときのちょっとした疑問についてお答えしていきます。

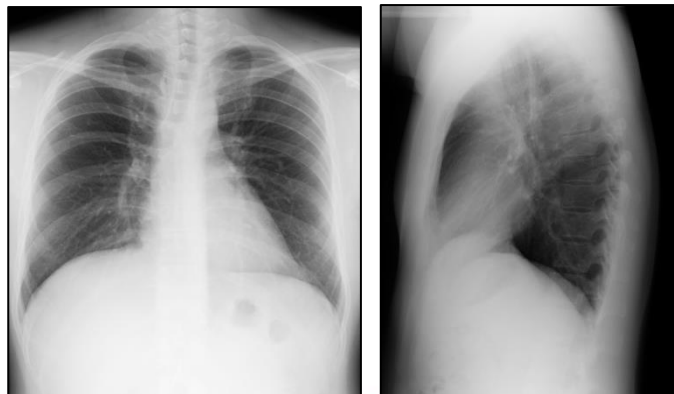


### ☆撮影すると、何が分かるの？

レントゲン写真で、向かって左が右肺、向かって右が左肺となります。

肺、縦隔(両方の肺と心臓の間にある部分)、胸郭、胸膜(肋骨)および心臓の異常を調べる検査です。

- ・肺がん
  - ・肺結核
  - ・肺炎、気管支炎などの肺の炎症
  - ・肺気腫、気胸、胸膜炎、肺線維症、心臓病、心肥大、胸部大動脈瘤など
- 肺の病気のほか、甲状腺の異常なども見つかります。

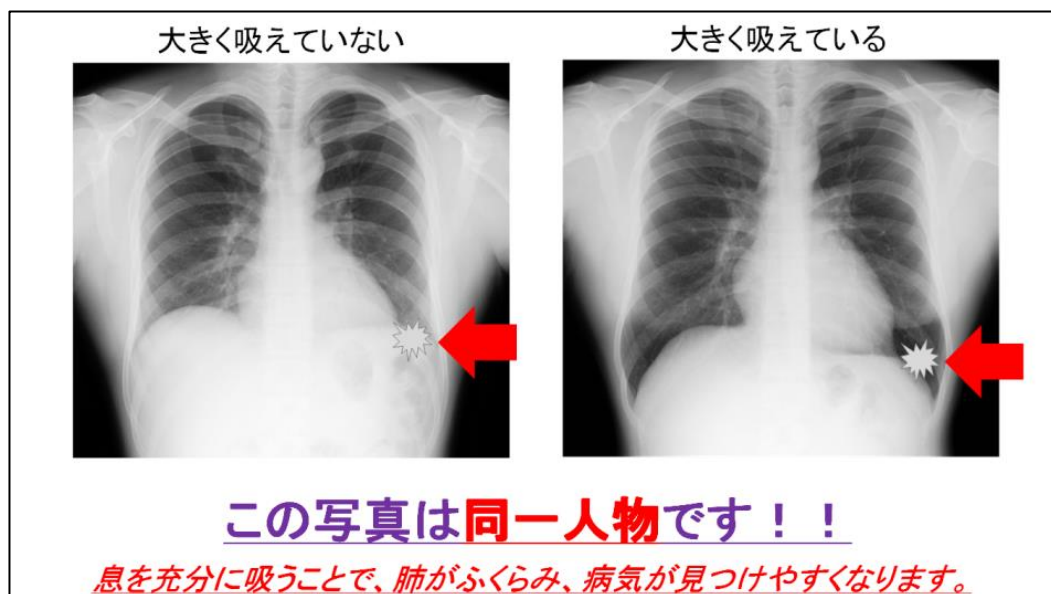


X線は、骨や心臓などは通過しにくく肺などは通過しやすいため、骨や心臓は白く、肺は黒く写るなどしてその形がよくわかります。

## ☆息を吸って止めるのはなぜなの？

息を止める理由は、動きによって写真がボケないようにするためです。

息を吸い込まなくても写真自体は撮影できますが、息を吸い込むことにより、肺に空気が入って肺が広がり、気管支・血管など肺内の構造が見やすくなり、的確な診断ができます。



## ☆洋服を脱いだり、着替えをするのはなぜなの？

厚手の洋服の場合、シワになってしまい診断の妨げとなる場合がありますので、薄着になっていただきます。

薄着でも、プリントがある場合は、プリントがレントゲンに写ってしまう可能性があるため、たとえ小さな1カ所のみプリントであっても、着替えをしていただきます。

柄や模様については、薄くて肌着のような素材であれば、チェック柄やボーダー柄、水玉模様でも問題はありませんが、ボーダーの白い部分だけが厚手だったり、水玉のフチが立体的だったり凹凸している生地は、脱いでいただきます。

ご協力よろしくお願いいたします。

## ☆レントゲンに写るものってどんなものがあるの？

- ・洋服
- ・ネックレス・ピアス等のアクセサリー
- ・下着のホック、ワイヤー
- ・ボタン
- ・湿布
- ・プラスチック類
- ・補聴器、眼鏡
- ・使い捨てカイロ
- ・鍼灸用の針
- ・財布 など



＊取り上げて欲しい病気や検査、質問等がありましたら、投書箱やよろず相談窓口までお気軽に声をかけてください。企画の参考にさせていただきます。 【監修：ふれあい編集部】